

令和4年度 第1回

# 県西地域サイクルツーリズム推進協議会

令和4年11月22日

# 〈 内 容 〉

- 1 モデルルート(案)について
- 2 県西地域における取組事例について
- 3 走行環境整備について
- 4 今後の進め方(案)について

# 1 モデルルート(案)について

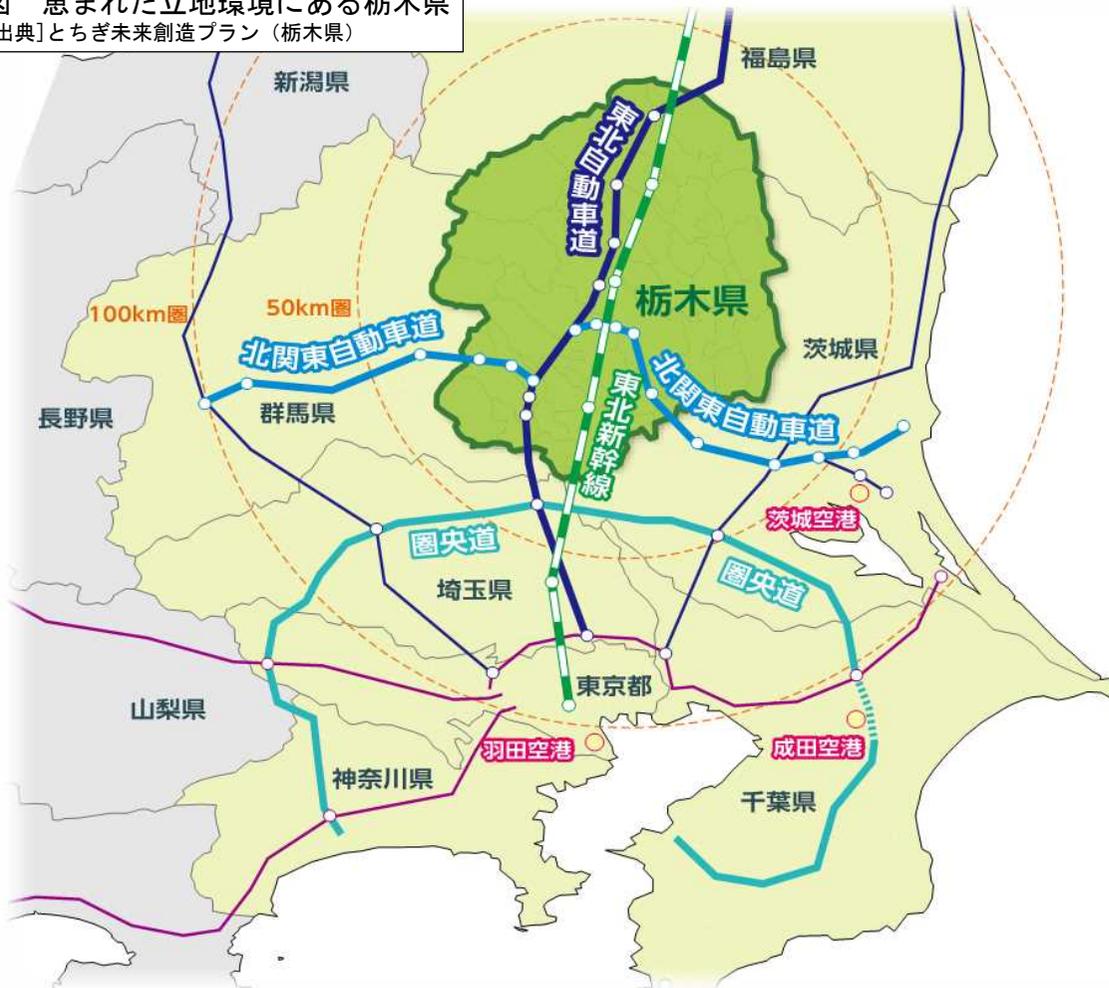
# 1-1 本県の地勢

本県は、首都東京から60～160kmの首都圏北部に位置する。

県内を南北に貫く東北自動車道や東北新幹線、東西に横断する北関東自動車道や水戸線・両毛線、また成田空港からは圏央道を経由してアクセスできるなど、首都圏や隣県からのアクセス性に優れている。

本県の地形は、北部から西部にかけては那須連山・日光連山、東部には八溝山地が並び、中央部から南部にかけては関東平野に開けているため、変化に富んだ魅力的なサイクリングルートづくりが可能である。

図 恵まれた立地環境にある栃木県  
[出典]とちぎ未来創造プラン（栃木県）



# 1-2 本県の魅力

雄大な山々から清らかに流れる河川や緑豊かな里山、田園などが織りなす四季折々の風景を県内随所にみることができるなど、自然と身近にふれあえる環境がある。

また、長い歴史の中で育まれ、現代に守り伝えられてきた歴史的価値の高い世界遺産などがある。本県には、こうした国内外に誇る温泉・歴史・自然・食などの地域資源が豊富に存在する。

## 温泉



奥日光湯元温泉  
(日光市)

## 歴史



古峰神社  
(鹿沼市)

## 自然



尚仁沢湧水  
(塩谷町)

## 食



出会いの森いちご園  
(鹿沼市)

# 1-3 本県の現状

コロナ禍前においては、本県の観光客入込数等は順調に増加していたが、東京圏からの日帰り圏内に位置していることなどから、宿泊数の増加に結び付いていない傾向にあった。

本県を訪れる観光客の滞在性・周遊性を高めることで、より多くの経済効果を地域に波及させる必要があり、また、日本人だけでなく外国人観光客を本県に呼び込むことが必要となる。

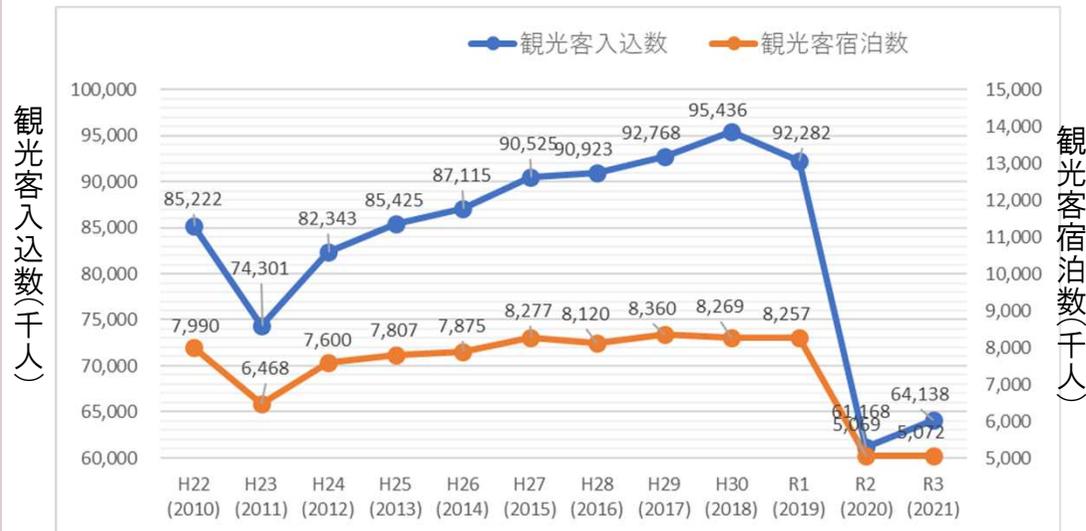


図 本県の観光客入込数・宿泊数の推移  
[出典] 栃木県観光交流課調べ



図 外国人延べ宿泊者数（全国・栃木県）  
[出典] 観光庁

# 1-4 自転車を活用した観光づくり

自転車を活用した観光地域づくり(サイクルツーリズムの推進)は各地で進められており、しまなみ海道(広島県・愛媛県)は、その成功事例である。

観光客のニーズが「モノ消費」から体験型観光の「コト消費」へ変化し、滞在コンテンツの充実が求められている中、自転車は、爽快感・雰囲気や自然を肌で感じられ、徒歩とも自動車・公共交通とも異なるスケールで周辺環境の認識が可能であるため、国内外の観光客の来訪を促進できる可能性がある。

## ■しまなみ海道サイクリングロード(広島県・愛媛県)

多島美で知られる瀬戸内海の絶景をサイクリングしながら満喫できる延長約70kmのサイクリングロード

<サイクリングロードの様子>



<宿泊施設>ONOMICHI U2

自転車を部屋に持ち込み可能な宿泊施設



【資料】ONOMICHI U2

## ▼外国人宿泊者数の推移(愛媛県)



【資料】宿泊旅行統計調査

図 しまなみ海道サイクリングロード(広島県・愛媛県)の例

[出典]国土交通省資料

# 1-5 サイクルツーリズムの目標

令和2(2020)年3月に栃木県自転車活用推進計画を策定し、「自転車先進県とちぎ」のさらなる発展を目指し、その目標の一つが『サイクルツーリズムで成長する“とちぎ”』である。

自転車で地域を巡り、沿線の魅力を楽しむ体験型・交流型旅行の促進や、各種自転車関連イベントの開催等を通じた観光地域づくりを推進し、自転車を活用した地域の活性化を図る。

そのため、自転車の走行環境、サイクリストの受入環境、サイクリングルート沿線の魅力づくりに取り組み、サイクリストの期待に応えるサイクリング環境(モデルルート)を創出する。



## ○サイクルツーリズムの推進

自転車を活用した観光地域づくり

本県の地域資源



自転車(サイクリング)

「走ってみたい」  
サイクリングルート創出  
(ハード)

「行ってみたい」  
魅力づくり・発信  
(ソフト)

- 走行環境整備【県・市町】
- サイクリスト受入環境整備  
(ポンプ・工具の配置等)【市町】

- 情報の集約・一元的発信【県】
- 地域の魅力づくり【市町】
- サイクリスト支援  
(ガイドボランティア育成等)【市町】

- モデルルートを通じたツアー・イベント等開催、各種取組【民間】

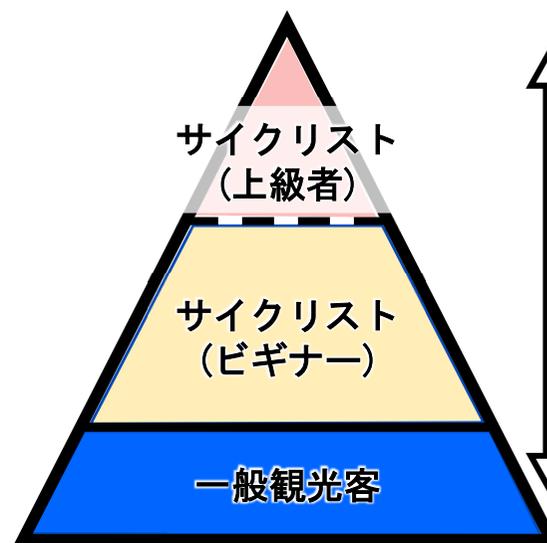
促進

滞在型観光

結果

観光消費額・国内外宿泊数の増加

## ○ターゲット層のイメージ



(長距離、高低差大)  
・ヒルクライムレース等

・ロングライド等

(短距離、平坦)  
・ポタリング等

⇒ 本県のサイクルツーリズムは、  
全階層がターゲット

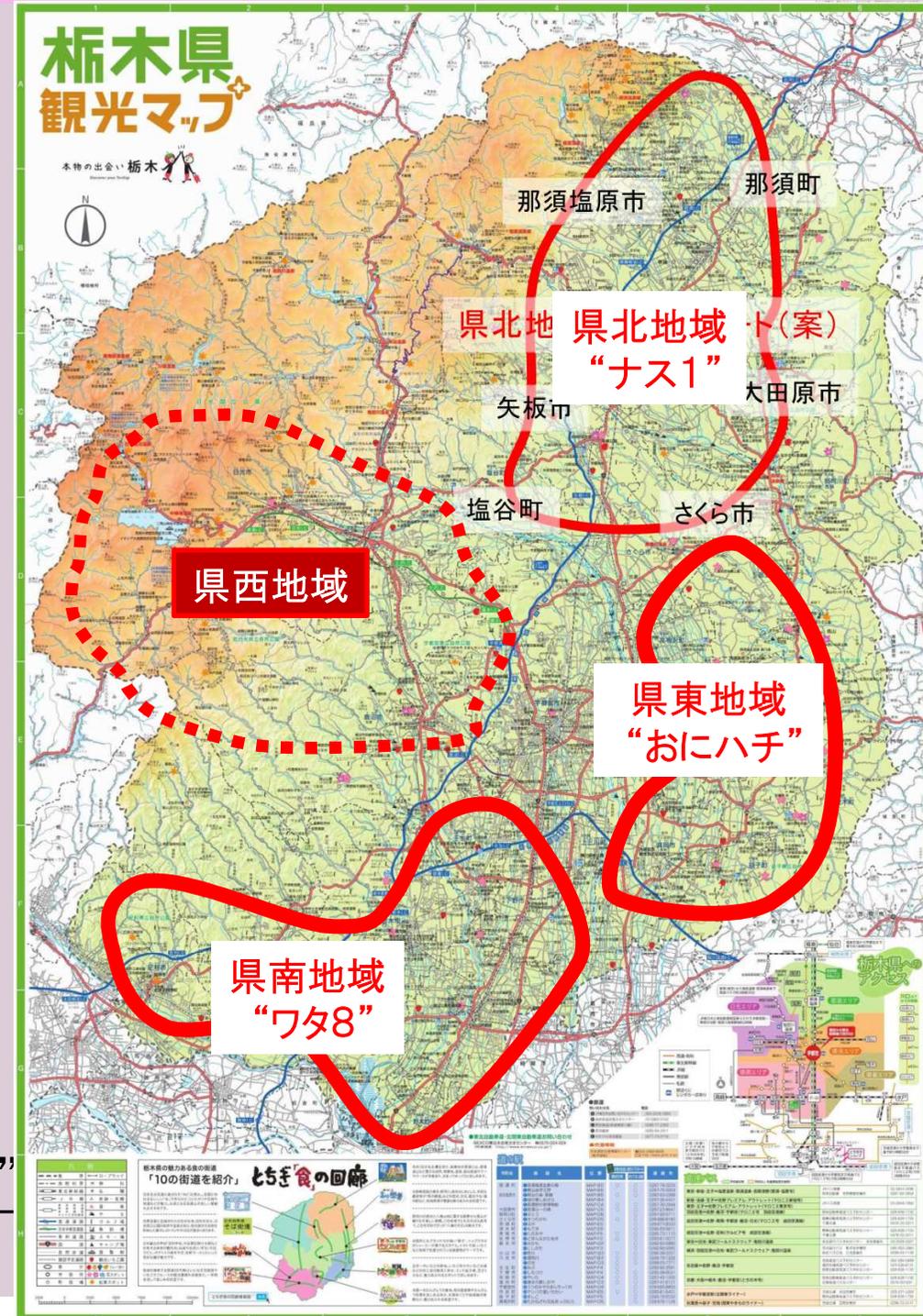
# 1-6 栃木県におけるモデルルートの設定

## ○ルート設定のコンセプト

- ・県全域、全市町を網羅
- ・市町や民間の取り組みと連携した広域基幹ルート
- ・各地域毎に協議会を立ち上げ、ルート設定や取り組み等について検討

## ○設定経過

- ・令和3年2月 県北地域  
栃木県サイクリングルート “ナス1” いち
- ・令和4年3月 県東地域  
栃木県サイクリングルート “鬼怒川・八溝サイクルルート(おにハチ)”
- ・令和4年7月 県南地域  
栃木県サイクリングルート “ワタラせ8(ワタ8)” はち はち

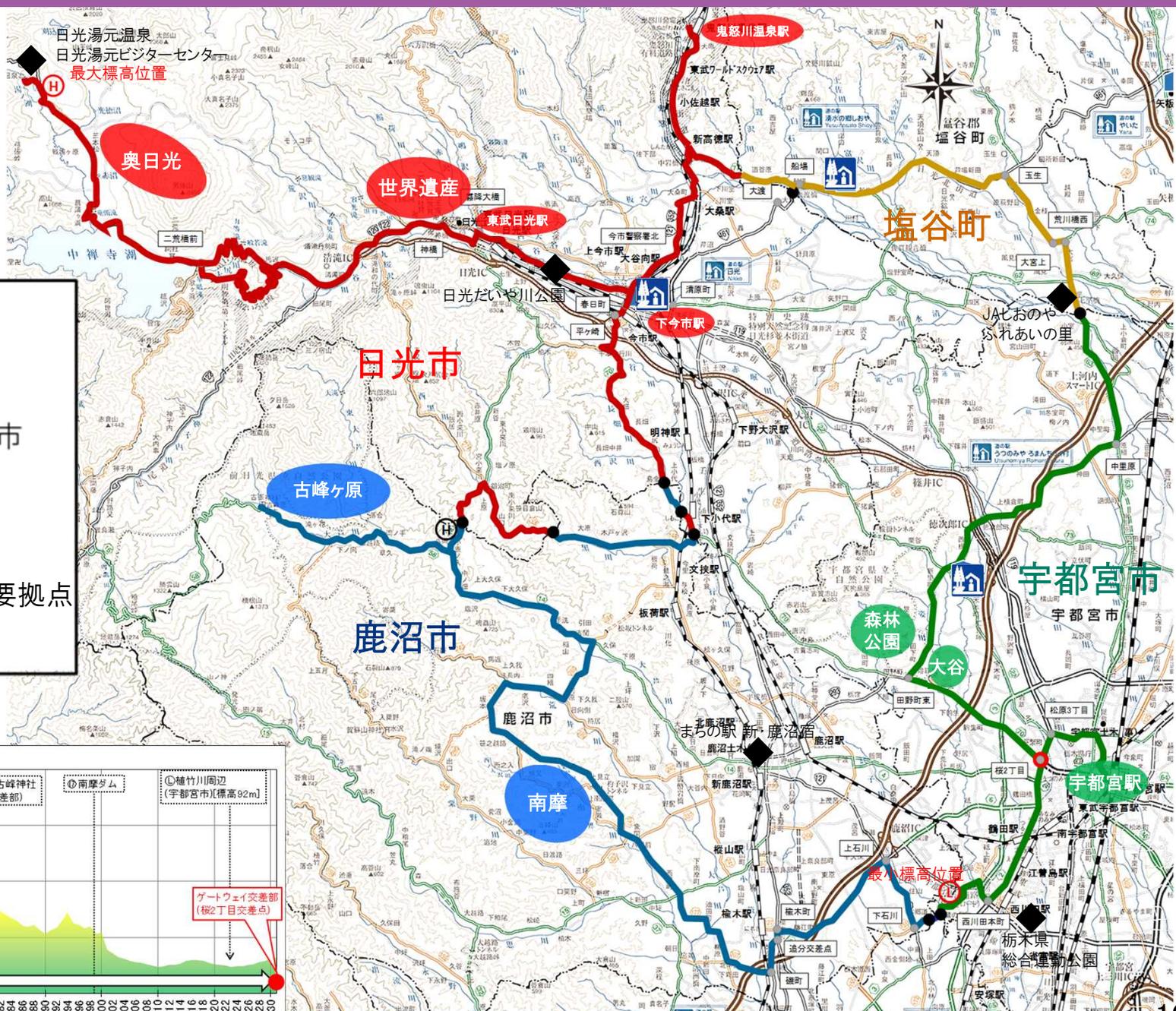




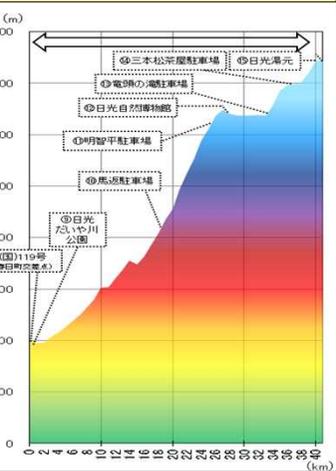
# 1-7 県西地域 モデルルート(案)

## (2) モデルルート(案)

- 全延長 約184km
- 最大標高 約1,489m  
(日光市湯元温泉周辺)
- 最小標高 約92m  
(宇都宮市下欠町周辺)



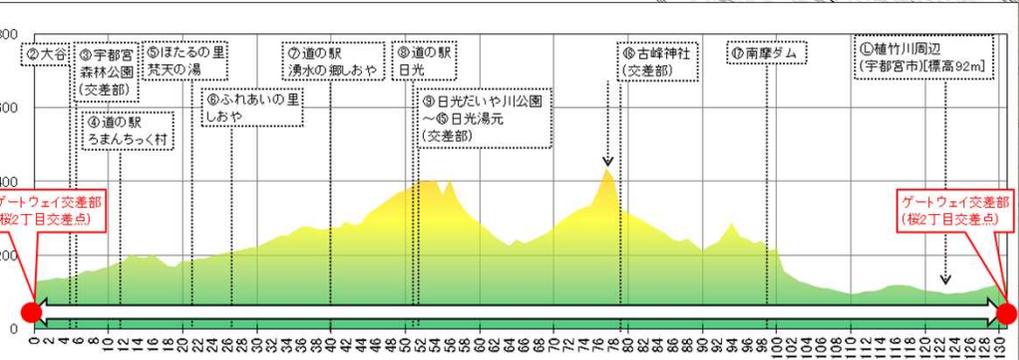
(国)119号(春日町交差点から  
(一)日光今市線・第2いろは坂経由  
日光湯元までの標高図



県西地域モデルルート 標高図

**[凡例]**

- (Red line): 日光市
- (Yellow line): 塩谷町
- (Green line): 宇都宮市
- (Blue line): 鹿沼市
- (Purple line): 壬生町
- (Black dot): 市町境
- ◆ (Pink diamond): その他主要拠点
- 🏠 (House icon): 道の駅



# 1-8 県西地域モデルルート(案) 各エリアの特徴

## (1) 宇都宮市(西側)エリア

- ジャパンカップサイクルロードレース※など自転車のイベントが開催されている。
- JR宇都宮駅をゲートウェイとし、田川サイクリングロードの一部をルートとする。
- また、観光地「大谷」や古賀志山など、歴史・自然が豊かな環境を眺めることができるルートとする。



JR宇都宮駅



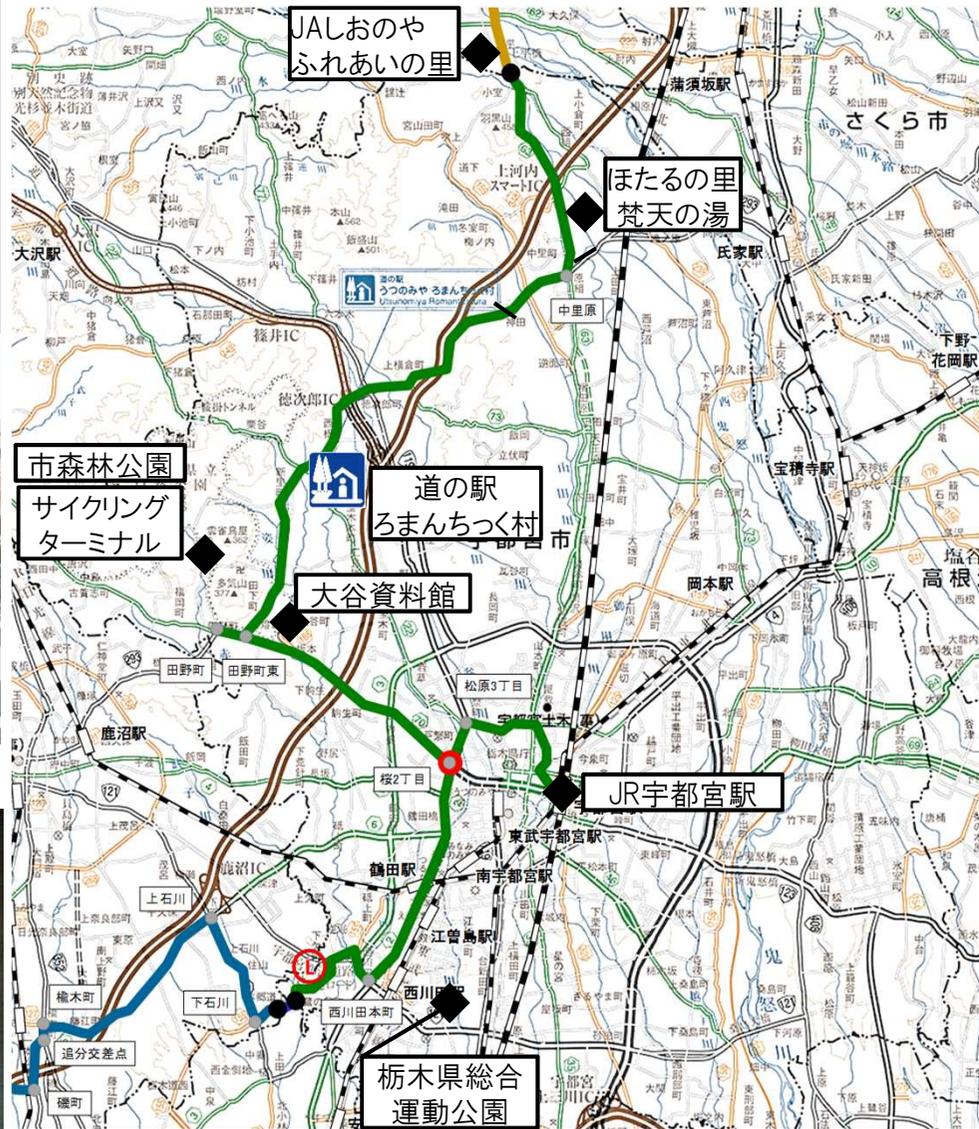
ジャパンカップサイクルロードレース



宇都宮市森林公園



大谷資料館

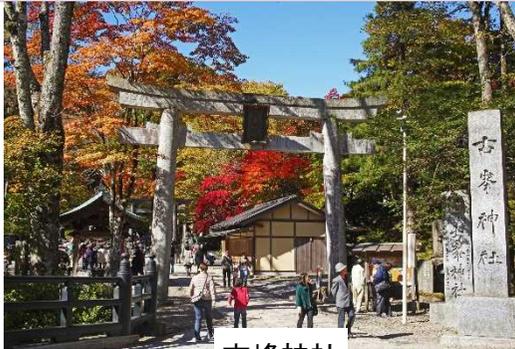


※ジャパンカップサイクルロードレース…国際自転車競技連合(UCI)よりプロシリーズに認定されたアジア最高位のロードレース。

# 1-8 県西地域モデルルート(案) 各エリアの特徴

## (2) 鹿沼市エリア

- 南摩ダム of インフラツーリズムを楽しむことができ、ダム周辺道路はアップダウンのあるコースとなっている。
- また、風情ある古峰神社を巡り、大芦川沿いを走る風景豊かなコースとなっている。



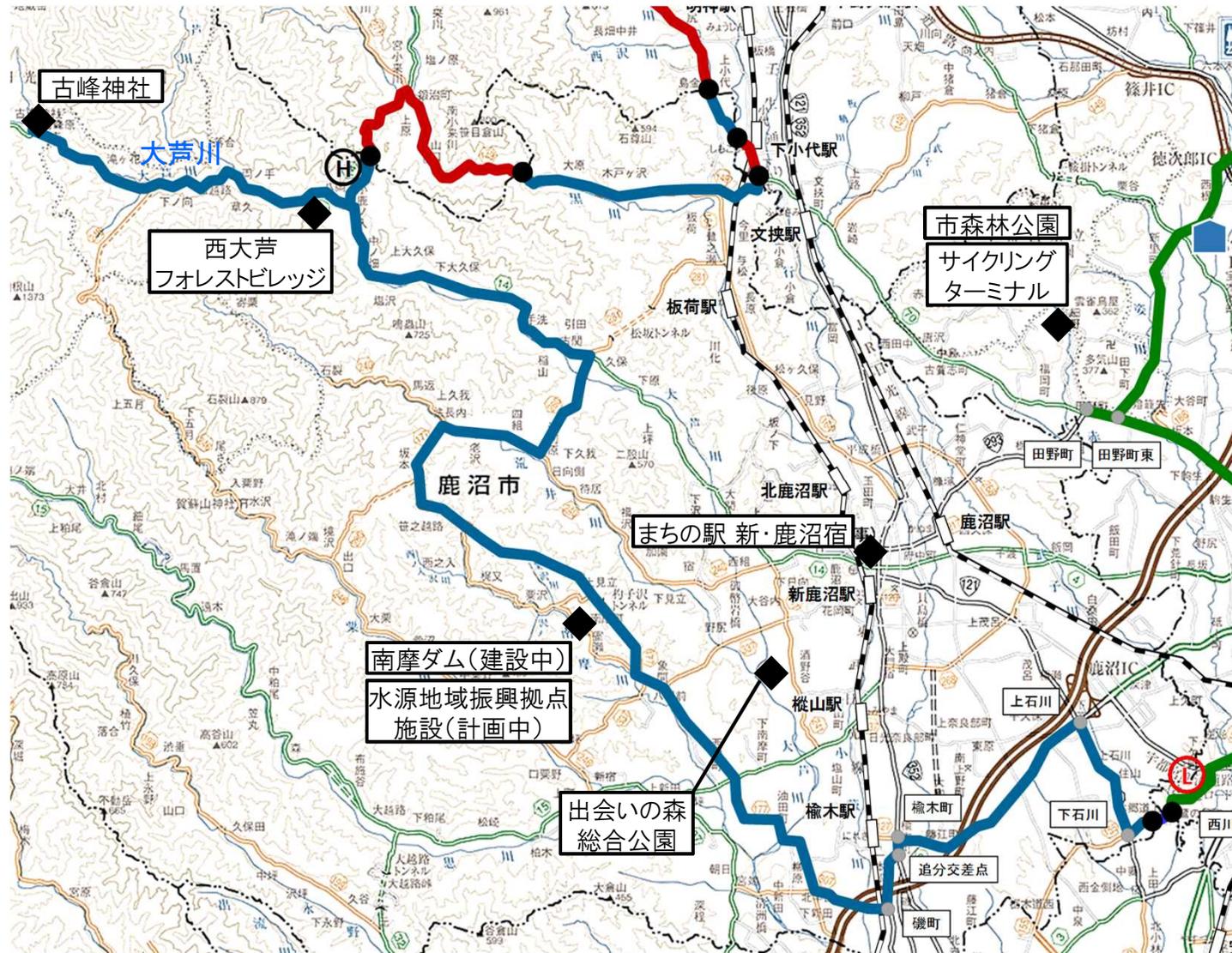
古峰神社



南摩ダム(建設中R4. 11月時点)



出会うの森いちご園



# 1-8 県西地域モデルルート(案) 各エリアの特徴

## (3) 日光市エリア

- 南部の長畑地域は長閑な田園風景を眺めることができ、旧今市市街地では道の駅「日光」を主要地点とする。
- 旧日光市街地付近では、世界遺産「日光の社寺」など歴史的な観光施設が多い。
- 中禅寺・奥日光地域は、いろは坂や男体山、中禅寺湖、戦場ヶ原、湯の湖などの雄大な自然を感じることができ、アップダウンを楽しめる。



いろは坂 (国道120号)



鬼怒川温泉



男体山・中禅寺湖



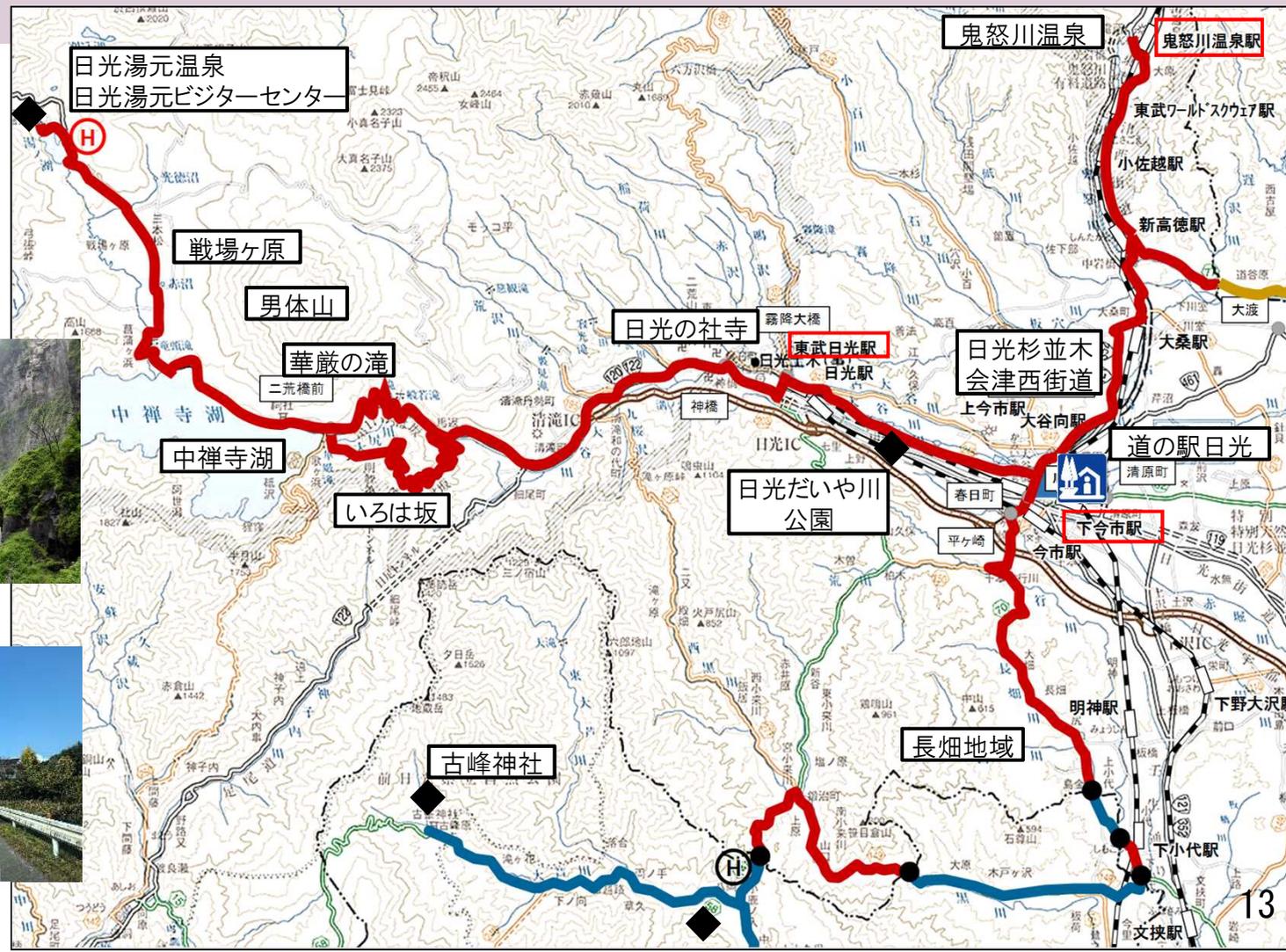
華厳の滝



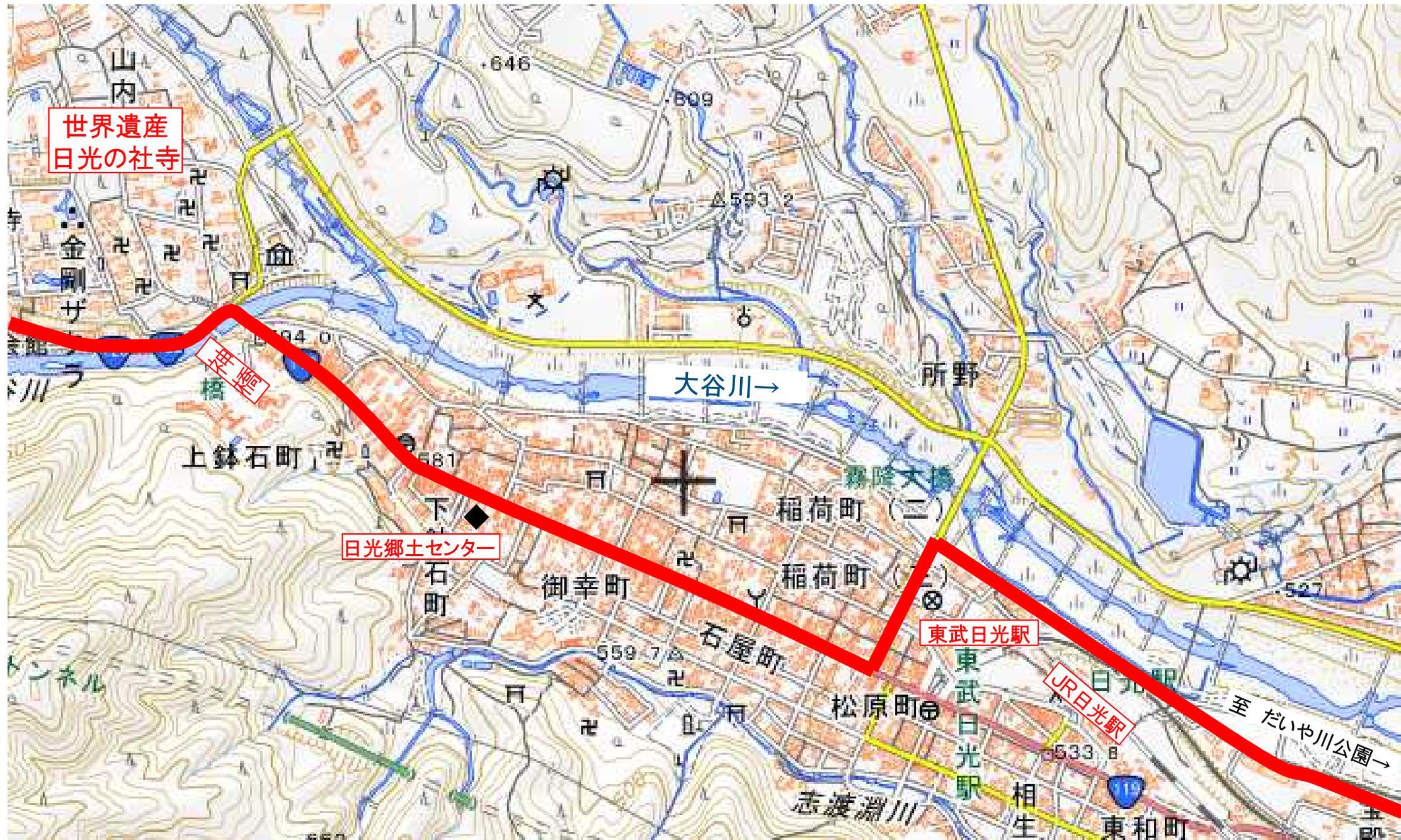
日光杉並木 会津西街道



長畑地域  
(宇都宮今市線)



# 旧日光市市街地 拡大図



# 1-8 県西地域モデルルート(案) 各エリアの特徴

## (4) 塩谷町エリア

○船生バイパス(国道461号)を通り、道の駅「湧水の郷しおや」を拠点とするルートとなっている。

○また、宇都宮市境付近では、鬼怒川を眺めることができ、また農産物の直売所「ふれあいの里」を通るルートとなっている。



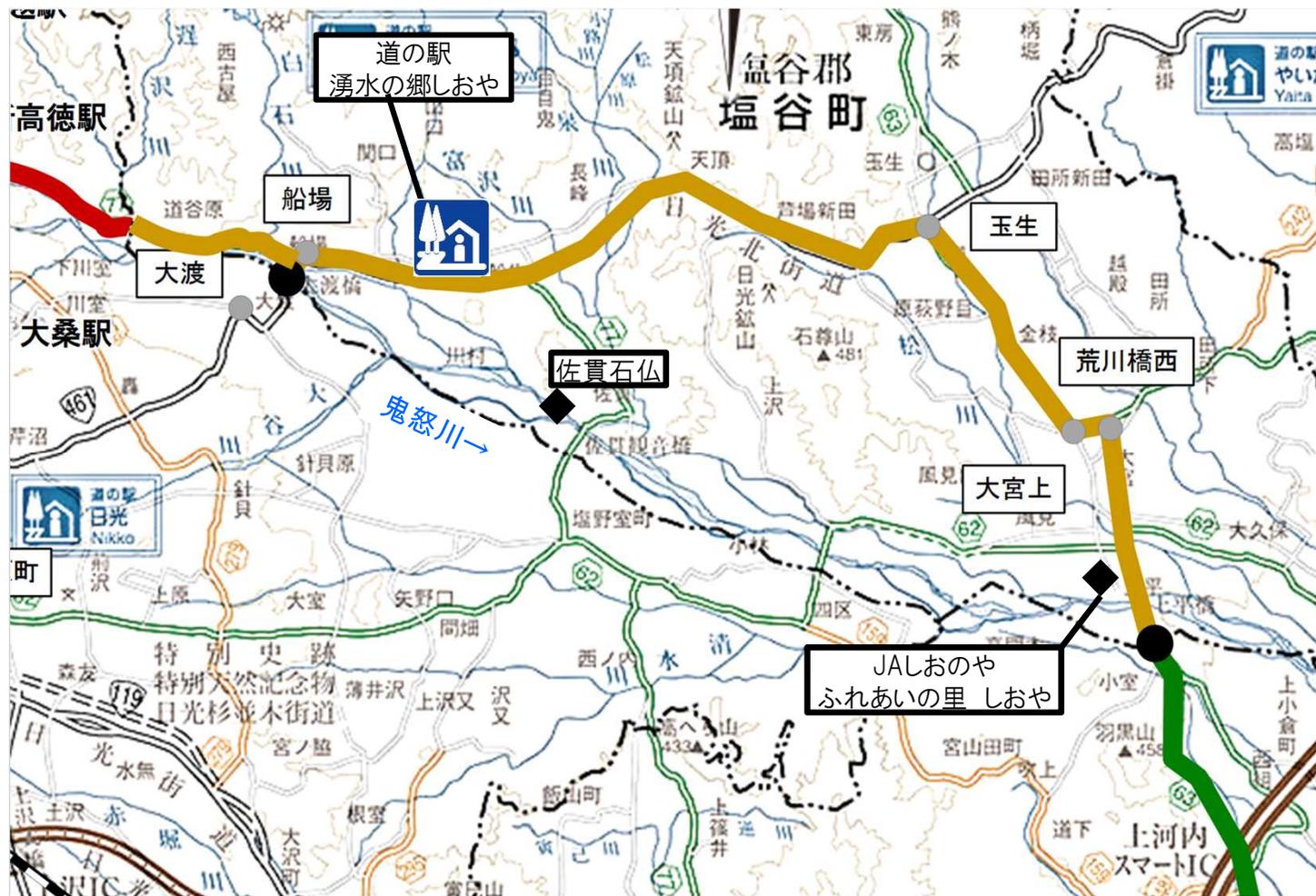
道の駅「湧水の郷しおや」



佐貫石仏



ふれあいの里しおや



# 日光市 国道120号 第1・2いろは坂におけるリスクについて

○急こう配・つづら折りのカーブ(計48箇所)・一方通行・延長約16km → 上級者向けである旨注意喚起を行う

○想定されるリスクと対策のイメージ

- ・途中でのリタイア → 緊急連絡先等の掲示の検討(携帯電話受信エリアの確認)
- ・第1いろは坂(下り坂)でブレーキに負担 → 一時休憩スポットの設定
- ・第1いろは坂(下り坂)でカーブを曲がれず転落 → 注意喚起看板、転落防止柵

道路管理者・交通管理者等と、どのような対策が取れるか意見交換を行う。



## ①注意喚起、緊急連絡先(イメージ)



第2いろは坂入口での対応案(馬返駐車場)



既存カーブ標識活用

## ②第1いろは坂における急カーブ部



## 2 県西地域における取組事例について

## 2 県西地域における取組事例について

○栃木県自然環境課

「日光国立公園(奥日光)セルフガイドEバイクツアーの構築」について

○東武鉄道株式会社

「日光・鬼怒川エリアにおけるサイクルトレインサービスの実証実験」について

# 日光国立公園（奥日光地域） セルフガイドEバイクツアーの構築について

令和4（2022）年11月22日  
環境森林部自然環境課

日光国立公園満喫プロジェクトの取組の一環として

- 国立公園内の高低差も楽々と進むことのできる「Eバイク」を、日光自然博物館、赤沼自然情報センターを拠点にレンタルできるシステムを構築中
- Eバイクに設置したナビにより、奥日光地域おすすめコースを周遊観光するセルフガイドツアー方式



<目的>

観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加による地域観光の振興

## Eバイクとは…

- ・電動アシスト付のスポーツ自転車のことで、悪路でも安定して走行できるマウンテンバイクタイプや、舗装路を爽快に走ることのできるクロスバイクタイプなどがある。
- ・エコモードで100km以上のアシスト走行が可能。



マウンテンバイクタイプ



クロスバイクタイプ

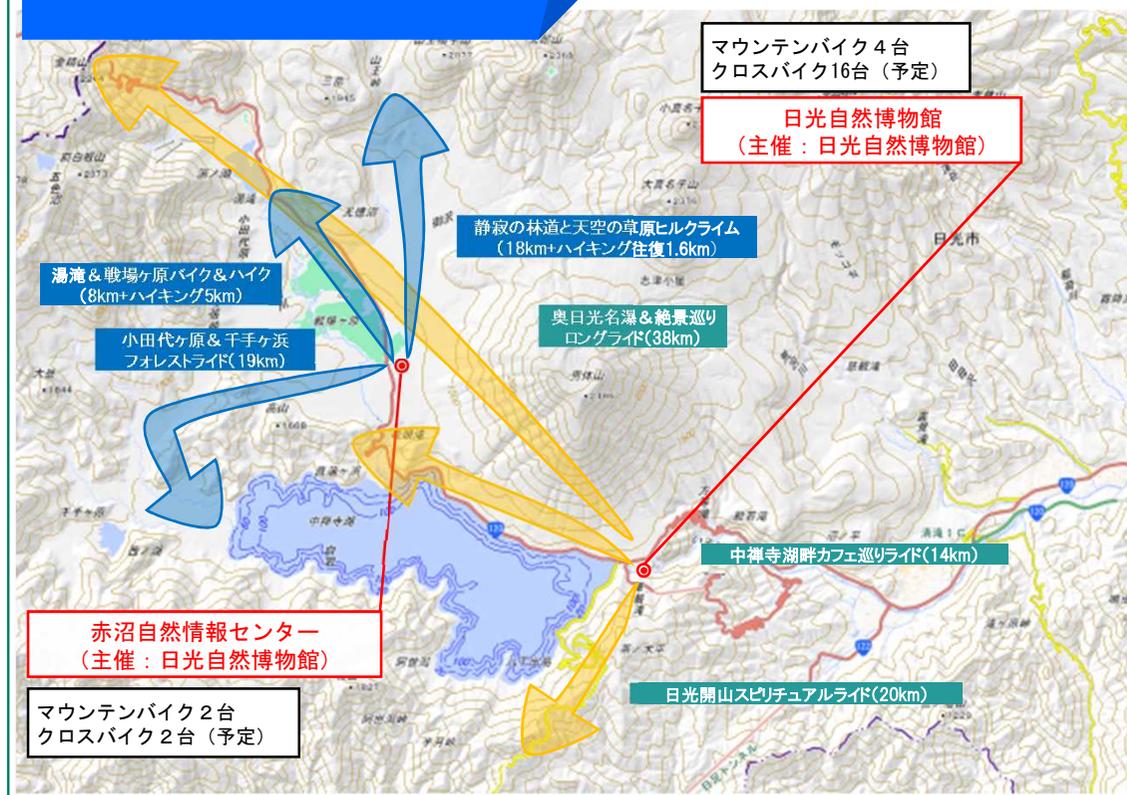
## セルフガイドツアーとは…

- ・これまでのツアーは、ガイドを伴ったものが主であったが、複数の周遊コースを案内可能なGPS機能付のナビゲーションをEバイクに設置し、自分のペースで寄り道などしながら、自由気ままな自転車旅を楽しめる。



GPS付ナビゲーション

## レンタル拠点及び周遊コース



# 3 走行環境整備について

## 2 走行環境整備について

- モデルルートであることを示す路面表示と案内看板の整備を行う。
- 仕様については、県北・県東・県南地域を踏襲する。

路面表示		案内看板			
 <p>幅75cm 長さ150cm</p> <p>矢羽根</p>	 <p>幅20cm 長さ60cm</p> <p>誘導</p>	 <p>幅30cm 長さ60cm</p> <p>誘導</p>	 <p>幅20cm 長さ200~250cm</p> <p>案内</p>	 <p>幅30cm 長さ100cm</p> <p>案内</p>	<p>ナショナルサイクルルートの基準を参考</p> <p>【矢羽根】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・単路部・・・100m間隔</li><li>・分岐部・・・200m,150m,100m,50m,30m,20m,10m地点に設置</li></ul> <p>【誘導】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・右左折の交差点部に設置</li><li>・自転車マークはJIS規格</li></ul> <p>【案内】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ルート沿線の主要地点と拠点までの距離を表示</li><li>・約5km間隔で設置</li></ul> <p>[表示内容]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主要地点名 例「那須高原友愛の森」</li><li>道 道の駅や鉄道駅、公園など11箇所</li><li>・主要地点までの距離</li><li>・現在地 例「⑨-2」</li></ul>

- 路面表示の矢羽根の規格及び色については、交通管理者の意見を踏まえた結果、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の仕様とする。
- 案内看板は、法定外標識となる。
- 塗装仕様は、屋外広告物条例等により、色彩等の基準を遵守する。(標識柱、標識板裏面)
- 整備は整備箇所の各管理者が実施するものとする。(例:市道⇒市道管理者)

## 2 走行環境整備について

### ナス1における施工例

#### ○単路部



#### ○分岐部



## 4 今後の進め方(案)について

### 3 今後の進め方(案)について

○令和4(2022)年11月22日(本日)

第1回 県西地域サイクルツーリズム推進協議会

内容：モデルルート(案)の提示



○令和4(2022)年11月～令和5(2023)年2月

内容：モデルルート(案)の試走

- ・令和4(2022)年7月25日 鹿沼市南摩エリア 試走済
  - ・令和4(2022)年10月28日 日光市奥日光エリア 試走済
- ※残るエリアについて試走

各エリア毎にワーキンググループによる検討

ルート名称の検討(令和4年12月中に委員へ名称(案)の募集予定)



○令和5(2023)年2～3月

第2回 県西地域サイクルツーリズム推進協議会

内容：・モデルルートの決定

ルート名称の決定

( 以後、順次走行環境整備及び情報発信を開始 )